

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 4 月 2 日 (2015.4.2)

【公開番号】特開 2013-215392 (P2013-215392A)

【公開日】平成 25 年 10 月 24 日 (2013.10.24)

【年通号数】公開・登録公報 2013-058

【出願番号】特願 2012-88401 (P2012-88401)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 B 6/03 3 3 1

A 6 1 B 6/03 3 3 0 A

G 0 6 T 1/00 4 0 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 2 月 12 日 (2015.2.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検体が横たわる天板と、  
前記天板上の被検体に向けて X 線を照射する X 線照射器と、  
前記天板上の被検体を透過した X 線を検出する X 線検出器と、  
前記 X 線検出器により検出された X 線の透過データを収集するデータ収集部と、  
前記天板と前記 X 線照射器とを前記天板上の被検体の体軸方向に相対移動させる移動駆動部と、  
前記天板と前記 X 線照射器との相対位置を検出する位置検出部と、  
前記位置検出部により検出された前記天板と前記 X 線照射器との相対位置に応じて、前記データ収集部によるデータ収集開始及びデータ収集停止を制御するデータ収集制御部と、  
を備えることを特徴とする X 線診断装置。

【請求項 2】

前記移動駆動部は、前記天板と前記 X 線照射器とを前記体軸方向の一方向である往路方向に相対移動させ、その体軸方向の他方向である復路方向に相対移動させることを特徴とする請求項 1 記載の X 線診断装置。

【請求項 3】

前記データ収集制御部は、前記位置検出部により検出された前記天板と前記 X 線照射器との相対位置に応じて、前記天板上の被検体における前記透過データを収集するデータ収集領域を前記往路方向及び前記復路方向で一致させるよう、前記データ収集部によるデータ収集開始及びデータ収集停止を制御することを特徴とする請求項 2 記載の X 線診断装置。

【請求項 4】

被検体が横たわる天板と、前記天板上の被検体に向けて X 線を照射する X 線照射器と、前記天板上の被検体を透過した X 線を検出する X 線検出器と、前記 X 線検出器により検出された X 線の透過データを収集するデータ収集部と、前記天板と前記 X 線照射器とを前記

天板上の被検体の体軸方向に相対移動させる移動駆動部とを備える X 線診断装置を制御する X 線診断装置の制御方法であって、

前記天板と前記 X 線照射器との相対位置を位置検出部により検出するステップと、  
検出した前記天板と前記 X 線照射器との相対位置に応じて、前記データ収集部によるデータ収集開始及びデータ収集停止をデータ収集制御部により制御するステップと、  
を有することを特徴とする X 線診断装置の制御方法。

【請求項 5】

前記移動駆動部により、前記天板と前記 X 線照射器とを前記体軸方向の一方向である往路方向に相対移動させ、その体軸方向の他方向である復路方向に相対移動させるステップをさらに有することを特徴とする請求項 4 記載の X 線診断装置の制御方法。

【請求項 6】

前記制御するステップでは、検出した前記天板と前記 X 線照射器との相対位置に応じて、前記天板上の被検体における前記透過データを収集するデータ収集領域を前記往路方向及び前記復路方向で一致させるよう、前記データ収集部によるデータ収集開始及びデータ収集停止を制御することを特徴とする請求項 5 記載の X 線診断装置の制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

実施形態に係る X 線診断装置は、被検体が横たわる天板と、天板上の被検体に向けて X 線を照射する X 線照射器と、天板上の被検体を透過した X 線を検出する X 線検出器と、X 線検出器により検出された X 線の透過データを収集するデータ収集部と、天板と X 線照射器とを天板上の被検体の体軸方向に相対移動させる移動駆動部と、天板と X 線照射器との相対位置を検出する位置検出部と、位置検出部により検出された天板と X 線照射器との相対位置に応じて、データ収集部によるデータ収集開始及びデータ収集停止を制御するデータ収集制御部とを備える。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

実施形態に係る X 線診断装置の制御方法は、被検体が横たわる天板と、天板上の被検体に向けて X 線を照射する X 線照射器と、天板上の被検体を透過した X 線を検出する X 線検出器と、X 線検出器により検出された X 線の透過データを収集するデータ収集部と、天板と X 線照射器とを天板上の被検体の体軸方向に相対移動させる移動駆動部とを備える X 線診断装置を制御する X 線診断装置の制御方法であって、天板と X 線照射器との相対位置を位置検出部により検出するステップと、検出した天板と X 線照射器との相対位置に応じて、データ収集部によるデータ収集開始及びデータ収集停止をデータ収集制御部により制御するステップとを有する。